

授業科目名	看護倫理学(2300206)		
時間割名	看護倫理学(52201)		
時間割担当	中馬成子		
実施期	前期	単位数	1 必修
曜日・時限	金・2		

授業の目標・概要

医療の進歩や医療を受ける人々の人権意識の高まりなどから、臨床現場でみられる倫理上のジレンマの多様化が進む現代において、看護職者としての倫理的感受性を常にもち、倫理的課題を見いだせ、対応するための基本的な知識と対策について学習する。

学習の到達目標

1. 看護に必要な倫理の原則が説明できる
2. 生命倫理、医療倫理、臨床倫理等の関連領域の理論の動向が説明できる。
3. 医療・看護における倫理に関する規範・原則や指針（倫理の原則、倫理指針、看護者の倫理綱領、ヘルシンキ宣言、ベルモントレポート、ニュルンベルグ綱領）について説明できる。
4. 医療の進歩に伴う倫理的課題の動向について説明できる。
5. 医療や看護の現場における倫理的課題と解決方法について説明できる。

授業方法・形式

講義、一部演習を含む。

授業計画

1. 倫理とは何か
医療における倫理とは
2. 生命倫理、医療倫理、臨床倫理等の関連領域の理論の動向
3. 医療・看護における倫理に関する規範・原則や指針（倫理の原則、倫理指針）
4. 医療・看護における倫理に関する規範・原則や指針（看護者の倫理綱領、ヘルシンキ宣言、ベルモントレポート、ニュルンベルグ綱領）
5. 医療の進歩に伴う倫理的課題の動向
6. 医療や看護の現場における倫理的課題
7. 医療や看護の現場における倫理的課題に対する解決方法
8. 医療や看護の現場における倫理的課題に対する解決方法

成績評価の基準

学期末のテスト、演習での学習状況、レポートなどから総合的に判断する。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

常日頃から、社会問題、医療問題、看護問題に頭をまたは潜在するジレンマに関心を持ち、解決策を思考する習慣をつける。

履修上のアドバイス及び留意点

倫理的態度は、看護職者として対象者によりよい看護を提供するために、必要な基本的態度であることを認識する。実習では、治療や看護ケアの場面などにおいて、倫理的な問題に気づき、学んだ知識を用いて実践家としての倫理的な解決法について常に思考する。

教材・教科書

系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院

参考書

必要に応じて、適宜紹介する。